

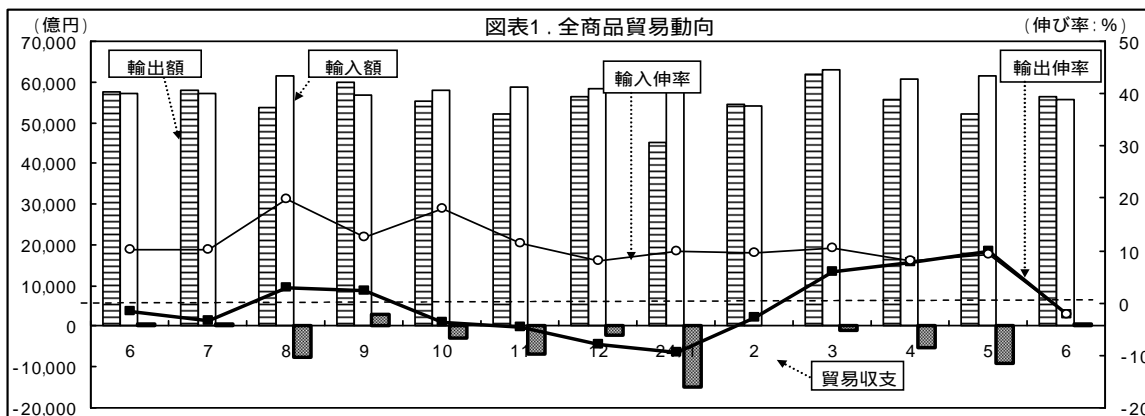
## 最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出は大幅に鈍化、ほぼ前年横這い～

日本機械輸出組合 2012.8.23

6月の機械輸出額は、3兆7,819億円、対前年同月比0.5%増と大幅に鈍化した(5月14.5%増)。これは、機械輸出額の約1/3の自動車が10.8%増に鈍化したこと(前月67%増)、北米向けは二桁増を維持したが、EU、中国向けが大幅に減少したこと、営業日が1日少なかったこと主因である。7月については、前年も超円高であったこと、ユーロが最安値となったこと、営業日が1日多かったことから為替・営業日で3.6%の増加要因となり、仮に6月の実質伸び率(7.4%増)だとすれば10%以上の増加が期待できた。しかし、7月の機械輸出額は、自動車の鈍化、一般機械の落込みから7.2%減となった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出、輸入ともマイナス、貿易収支は4ヶ月ぶりの貿易黒字～

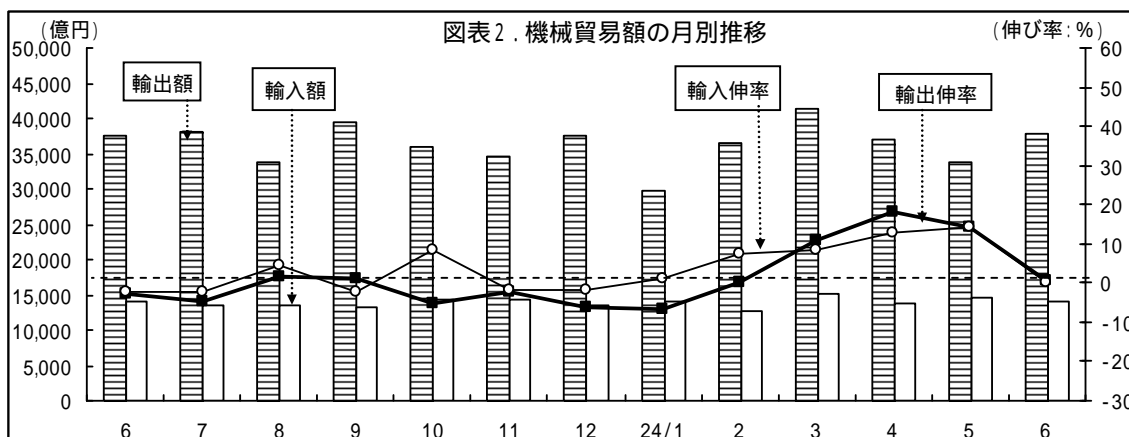
- 1)平成24年6月の全商品輸出額は5兆6,430億円、前年同月比(以下同じ)2.3%減と4ヶ月ぶりにマイナスとなった(5月10.0%増)。これは、全輸出額の20%を占める原動機等一般機械(10.2%減)、13%の鉄鋼等原料別製品(3%減)、3%の科学光学機器(6%減)が減少したことによる。他方、輸送用機器は13.2%増と二桁を維持した。
- 2)輸入額は5兆5,826億円、前年同月比2.2%減と2年5ヶ月ぶりにマイナスとなった(5月9.3%増)。これは、全輸入額の8.4%を占める化学製品(12.6%減)、8.2%の鉄鋼等原料別製品(15.9%減)、7%の非鉄金属等原料品(13.0%減)、9%の食料品(8.2%減)等が減少したためである。他方、原油等鉱物性燃料は、伸率が鈍化したものの5.4%と増加を続けている。
- 3)この結果、6月の貿易収支は4ヶ月ぶりに603億円の貿易黒字となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出額の伸びも大幅鈍化～

- 1)全商品輸出額の約67%を占める6月の機械輸出額は3兆7,819億円、0.5%増と大幅に鈍化した(5月14.5%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年6月)と比べると、79.0%と前月より4ポイント上昇した(5月75.0%)。
- 2)一方、全商品輸入額の約25%を占める機械輸入額も、1兆4,140億円、0.2%増も大幅に鈍化した(5月14.3%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の84.0%と前月より約11ポイント後退した(5月95.1%)。

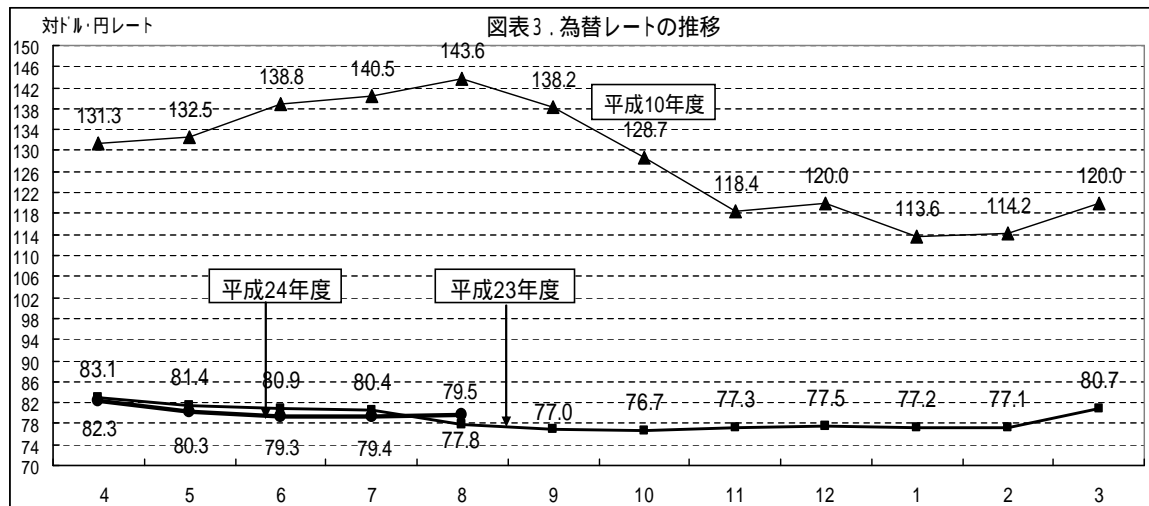


(2) 為替動向・営業日～6月は為替・営業日で6.9%の減少、7月は合計3.6%の増加～

1) 6月は1ドル=79.3円と欧州信用不安でさらに円高が進み、前年比では2.0%の円高であり、また、対ユーロ=100円では13.7%の円高となり、合わせて2.4%の減少要因となった。営業日は1日少ないので4.5%減となり、合計6.9%の減少要因となった。6月の輸出額は0.5%増であったことから、実質的伸び率は7.4%増とやや拡大した(5月5.7%増)。

2) 7月は1ドル=79.4円と欧州信用不安でさらに円高が高止まりし、前年比横這いとなった。また、対ユーロでは98.9円と過去最安値で14.1%の円高となり、合わせて1.4%の僅かな減少要因となった。営業日は1日多いので5%増となり、合計3.6%の増加要因となる。

3) 8月は、対ドルが現状の79.5円とすれば前年が超円高となったので逆に2.2%の円安となり、また、対ユーロが過去最安値の98.2円とすれば11.7%の円高となり、合わせると1%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じであるので、合計1%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けは5ヶ月連続で二桁増、EU、中国向けは大幅マイナス～

1) 機械輸出が僅かに増加した地域的要因は、機械輸出額の22%を占める北米向けで、輸出額の34%を占める乗用車(20.2%増)が大幅増となったほか、13%の自動車部品(64.0%増)、建設機械(45.7%増)、重電気機械(58.0%増)、分析・試験機器(24.7%増)の増加が寄与して18.7%増と5ヶ月連続で2桁増を維持したこと、22%を占めるその他地域向けでは、エジプト等アフリカ(15.7%増)、アラブ首長国、サウジ等中近東(11.0%増)、パナマ等中南米(8.3%増)が増加となったが、インド、ロシア・東欧向けがマイナスとなり、機種では、全体の52%を占める自動車(7.0%増)、船舶(23.2%増)、重電気機械(31.6%増)の増加が寄与して4.8%増となったこと、約29%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けが、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナムが2ケタの大幅増となり、業種では、自動車、自動車部品、重電気機械、軽電気機械、工作機械等が増加したが、半導体製造装置が大幅減となり、1.5%増となったことによる。

2) 他方、10%を占めるEU向けは、輸出額の17%を占める産業機械(26.9%減)、電子デバイス(44.7%減)、軽電気機械(白物家電)(33.5%減)等が減少し、21.7%減と大幅なマイナスとなった。また、17%を占める中国向けでは、全体の19%を占める半導体製造装置等産業機械(21.8%減)、建設機械(67.2%減)、繊維機械(45.3%減)等が大幅に減少し、8.9%減と2ヶ月ぶりのマイナスとなった。

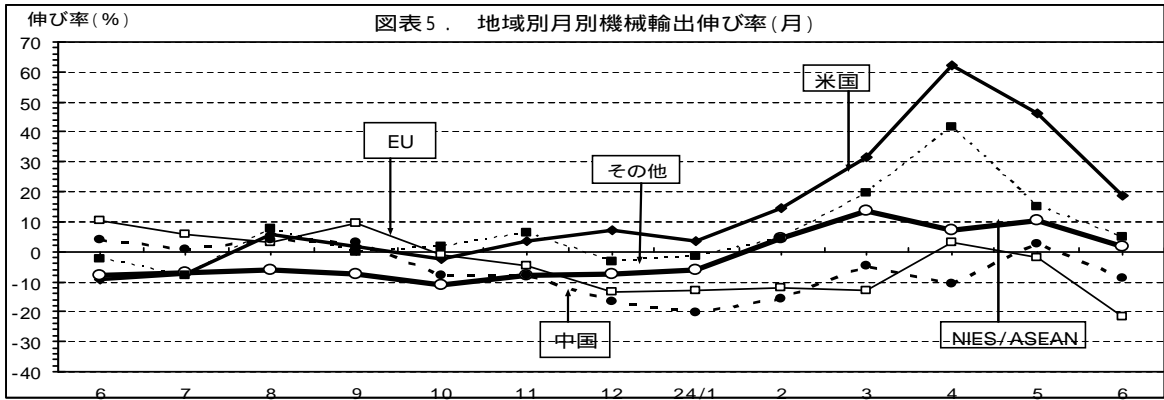
3) また、リーマンショック前の平成20年6月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無で、中国が90%台、北米、NIES/ASEANは80%台、その他の地域は70%台、EUは50%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/4			2012/5			2012/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,029	18.3	100	33,661	14.5	100	37,819	0.5	100	0.79
北米	8,299	62.1	22.4	7,579	46.2	22.5	8,433	18.7	22.3	0.84
EU	4,128	3.0	11.1	3,845	1.8	11.4	3,776	21.7	10.0	0.51
NIES/ASEAN	10,488	7.3	28.3	9,452	10.4	28.1	10,791	1.5	28.5	0.89
中国	5,957	10.5	16.1	5,818	2.7	17.3	6,451	8.9	17.1	0.98
その他	8,157	41.8	22.0	6,967	14.8	20.7	8,369	4.8	22.1	0.70

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/3		2012/4		2012/5		2012/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,089	7.2	1,766	4.5	1,530	7.9	1,577	20.5
台湾	1,655	12.9	1,578	11.9	1,526	6.3	1,688	9.6
香港	1,576	10.4	1,518	3.2	1,286	3.8	1,653	1.4
タイ	2,278	45.0	1,978	29.1	1,743	39.2	2,007	28.7
シンガポール	1,008	9.5	885	5.2	849	10.3	1,065	3.9
インドネシア	1,148	80.9	1,015	56.7	941	64.7	1,021	22.0
マレーシア	809	3.0	705	1.0	693	4.7	793	2.6
フィリピン	599	41.4	575	38.4	517	24.4	557	28.9
ベトナム	422	50.2	354	24.4	271	21.8	359	10.9
その他地域								
中南米	2,751	1.7	2,768	17.8	2,102	13.3	2,956	8.3
中近東	1,818	35.5	1,452	124.4	1,314	64.7	1,478	11.0
大洋州	1,605	70.0	1,412	117.5	1,067	30.8	1,208	7.0
ロシア東欧等	1,357	17.8	1,291	50.5	1,117	15.3	1,237	7.4
アフリカ	1,129	35.7	673	5.2	903	48.8	952	15.7
インド	547	14.5	415	7.4	371	9.6	402	15.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 自動車は4ヶ月連続2ケタ増で機械輸出を牽引、他方2/3業種が減少 ~

- 業種別では、全19業種中プラスとなったのが1/3の6業種で、前月より2業種減少した。全体の33%を占める自動車が10.8%増と伸び率は大幅に鈍化した。2ケタ増となり、機械輸出を牽引した。その他、船舶(19.5%増)、分析・試験機等軽機械(12.4%増)が二桁増となった。他方、産業機械(12.6%減、12ヶ月連続)、通信機械(15.2%減)、電子計算機(17.7%減)、繊維機械(31.6%減、11ヶ月連続)、陸用内燃機(21.5%減)、産業車両(20.9%減)等が大幅なマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが船舶、医療機械、ベアリングの3業種で、他方、電子計算機、通信機械、産業車両、民生用電子機械、繊維機械は40~60%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円, %)

2012/4				2012/5				2012/6				対08/6 比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	12,359	96.3	33.4	自動車	11,415	66.9	30.8	自動車	12,337	10.8	32.6	0.73
産業機械	6,523	6.9	17.6	産業機械	5,770	9.0	15.6	産業機械	6,231	12.6	16.5	0.83
電子デバイス	2,634	10.5	7.1	電子デバイス	2,565	6.7	6.9	電子デバイス	2,824	6.5	7.5	0.71
船舶	2,181	3.9	5.9	船舶	1,581	13.6	4.3	船舶	2,613	19.5	6.9	1.39
軽電気機械	1,801	10.2	4.9	軽電気機械	1,673	0.2	4.5	軽電気機械	1,922	4.5	5.1	0.79
民生用電子機械	1,764	11.7	4.8	民生用電子機械	1,591	5.2	4.3	民生用電子機械	1,889	0.9	5.0	0.59
重電気機械	1,744	5.5	4.7	重電気機械	1,694	11.9	4.6	重電気機械	1,879	2.5	5.0	0.88
軽機械	1,333	7.4	3.6	軽機械	1,237	23.0	3.3	軽機械	1,406	12.4	3.7	0.80
光学機械	1,267	2.6	3.4	光学機械	1,140	4.8	3.1	光学機械	1,259	8.3	3.3	0.99
建設機械	1,256	35.2	3.4	建設機械	1,090	9.4	2.9	建設機械	1,240	0.1	3.3	0.80
工作機械	854	15.4	2.3	工作機械	796	18.0	2.1	工作機械	856	4.8	2.3	0.98
通信機械	477	6.3	1.3	通信機械	388	4.6	1.0	通信機械	430	15.2	1.1	0.48
電子計算機	397	0.6	1.1	電子計算機	361	6.0	1.0	電子計算機	403	17.7	1.1	0.41
ベアリング	378	9.6	1.0	ベアリング	347	3.4	0.9	ベアリング	388	8.8	1.0	1.07
陸用内燃機関	356	15.0	1.0	陸用内燃機関	319	6.0	0.9	陸用内燃機関	344	21.5	0.9	0.87
医療機械	283	1.3	0.8	医療機械	278	3.7	0.8	医療機械	310	5.6	0.8	1.19
繊維機械	140	44.7	0.4	繊維機械	162	21.4	0.4	繊維機械	153	31.6	0.4	0.63
農業機械	151	11.7	0.4	農業機械	120	3.7	0.3	農業機械	157	2.9	0.4	0.78
産業車両	117	14.1	0.3	産業車両	112	2.2	0.3	産業車両	120	20.9	0.3	0.48
19業種合計	36,015		97.3	19業種合計	32,639		97.0	19業種合計	36,761		97.2	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハソソ、HDD・プリンター等部品。  
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～発電機、金属加工機、船舶は大幅増、他方、電池、半導体製造装置は大幅減～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、その他地域、中国、北米等向け**発電機(64.7%増)**、その他地域、ASEAN、中国等向け**金属加工機械(28.4%増)**、中国、その他地域、ASEAN等向け**船舶(19.5%増)**、北米、ASEAN、中国等向け**自動車部品(17.3%増)**、ASEAN 中国、その他地域等向け**電気・電子計測器(15.3%増)**、ASEAN、中国、北米等向け**分析・試験・検査機械(12.6%増)**、その他地域、ASEAN、韓国・台湾等向け**貨物自動車(11.9%増)**などとなっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、電池(55.4%減)、半導体製造装置(39.7%減)、繊維機械(31.6%減)、原動力機械(23.4%減)、陸用内燃機関(21.5%減)、産業車両(20.9%減)、録画・再生機器(16.0%減)、通信機器(15.2%減)、TV(14.1%減)、産業機械(12.6%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/4			2012/5			2012/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
乗用車	6,882	219.9	発電機	178	100.5	発電機	145	64.7
デジカメ	672	87.1	乗用車	6,445	93.5	金属加工機械	323	28.4
建設機械	1,256	35.2	自動車部品	3,881	42.6	船舶	2,613	19.5
磁気カード・ディスク等	170	17.9	建設機械	1,090	35.2	自動車部品	4,187	17.3
工作機械	854	15.4	分析・試験・検査機	692	29.0	電気・電子計測器	504	15.3
陸用内燃機関	356	15.0	デジカメ	581	24.6	分析・試験・検査機	790	12.6
産業車両	117	14.1	電気・電子計測器	398	21.8	貨物自動車	884	11.9
自動車部品	4,141	14.1	電子応用装置	50	20.4	時計	103	11.3
産業用ロボット	109	12.7	工作機械	796	18.0	機種合計	9,549	25.2%
分析・試験・検査機	754	11.3	産業用ロボット	90	14.8			
機種合計	15,311	41.3%	機種合計	14,201	42.2%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/4			2012/5			2012/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	173	51.0	電池	152	50.3	電池	168	55.4
繊維機械	140	44.7	半導体製造装置	956	37.0	半導体製造装置	984	39.7
半導体製造装置	1,156	28.8	繊維機械	162	21.4	繊維機械	153	31.6
原動力機械	345	22.7	風水力機械	560	19.1	原動力機械	291	23.4
民生用電子部品	780	16.5	船舶	1,581	13.6	陸用内燃機関	344	21.5
電子デバイス	2,634	10.5	金属加工機械	251	11.6	産業車両	120	20.9
軽電気機械	1,801	10.2	機種合計	3,662	10.9%	録画・再生機器	14	16.0
TV	83	10.2				通信機器	430	15.2
機種合計	7,112	19.2%				TV	67	14.1
						産業機械	6231	12.6
						機種合計	8,802	23.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～乗用車、自動車部品、航空機、民生用電子部品等が大幅増～

- 1) 6月の機械輸入伸び率は0.2%増と大幅に鈍化した。その要因は、二大輸入機種である電子計算機が5%減となったほか、携帯電話(9.5%減)、重電気機械(22.5%減)、光学機械(7.2%)が減少となったためである。他方、乗用車(24.3%増、11ヶ月連続)、自動車部品(40.9%増、12ヶ月連続)、航空機(約2倍、3ヶ月連続)、民生用電子部品(12.1%増)、分析・試験・検査機(11.2%増)は二桁増となった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、エアコン、TV、医療機器、録画・再生機器、ラジオとなっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、中国(4.3%減)、ASEAN(1.8%減)、北米(7.5%増)、韓国・台湾(6.3%増)、EU(0.9%増)、の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/4				2012/5				2012/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,748	11.8	12.7	電子計算機	1,689	6.7	11.6	電子デバイス	1,507	2.4	10.7
電子デバイス	1,335	0.2	9.7	電子デバイス	1,477	2.3	10.1	電子計算機	1,504	5.0	10.6
携帯電話	754	118.2	5.5	白物家電	773	27.2	5.3	白物家電	763	6.5	5.4
航空機	694	71.9	5.1	乗用車	770	61.4	5.3	携帯電話	706	9.5	5.0
白物家電	626	20.2	4.6	自動車部品	705	63.1	4.8	乗用車	686	24.3	4.9
自動車部品	614	16.0	4.5	重電気機械	662	15.5	4.5	自動車部品	674	40.9	4.8
重電気機械	595	0.0	4.3	携帯電話	491	14.9	3.4	重電気機械	656	22.5	4.6
乗用車	575	5.2	4.2	医療機器	464	9.9	3.2	航空機	530	104.8	3.7
医療機器	422	3.5	3.1	航空機	414	80.4	2.8	医療機器	447	9.1	3.2
民生用電子部品	276	2.6	2.0	民生用電子部品	355	40.5	2.4	光学機械	352	7.2	2.5
光学機械	293	2.0	2.1	光学機械	347	8.9	2.4	民生用電子部品	325	12.1	2.3
分析・試験・検査機	222	3.7	1.6	分析・試験・検査機	262	14.3	1.8	分析・試験・検査機	255	11.2	1.8
12機種合計	8,154		59.4	12機種合計	8,409		57.7	12機種合計	8,405		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械